

2 基の研究炉の稼働状況等は以下のとおりです。

- ・ 京都大学研究用原子炉（KUR：Kyoto University Research Reactor）  
KURは、定期検査等の期間及び年末年始を除き、通常、週単位で火曜から木曜日まで連続運転を行っており、令和4年度から令和5年度の運転の状況は、次のとおりです。  
令和4年度：令和4年11月15日～令和5年2月22日（延運転時間 548時間）  
令和5年度：令和5年7月下旬～令和6年2月中旬まで運転予定
- ・ 京都大学臨界集合体実験装置（KUCA：Kyoto University Critical Assembly）  
KUCAは、定期検査等の期間及び年末年始を除き、通常、1日を単位として運転を行っておりますが、現在、低濃縮燃料での運転切り替え対応のため、令和3年7月下旬から運転を休止中です。今のところ、令和6年度中に低濃縮燃料による運転を再開する予定です。

### 【参考】



KURの炉心

《 KURの概要について 》  
・ スミングプールタンク型原子炉  
・ 最大熱出力 5,000kW  
・ 中性子を利用した物理学、化学、生物学、工学、農学、医学等の幅広い実験研究等に使用。



KUCAの炉心（上：固体減速炉心、下：固体減速炉心）

《 KUCAの概要について 》  
・ 炉心の組換えが容易な原子炉  
・ 最大熱出力 100kW  
・ 炉物理研究、国内外の学生実験教育等に使用。

# 京都大学における事故等事案について

昨年度は該当事案なし。

# 住民広報について（その1）

## I 施設見学等について

- ・ 一般公開、桜公開  
毎年4月初旬(土・日)に主に地域住民を対象とした一般公開(研究炉等の施設見学、科学実験コーナー等)、桜公開(構内の桜見学)を実施。  
令和5年度見学者数：4月1日(258人)、4月2日(431人)  
※令和2年度～令和4年度は、新型コロナウイルス感染症による影響で未実施。
- ・ 学術公開  
中学生から一般の団体等までを対象とした学術公開(ミニ講義、施設見学等)を毎月1回実施。令和2年度より新型コロナウイルス感染症による影響で実施されていなかったが、令和5年9月より再開(実施)予定。
- ・ アトムサイエンス講演会、アトムサイエンス実験教室  
講演会は中学生以上が対象、実験教室は小学生または中学生が対象で毎年10月頃に実施。  
令和4年度：講演会(54人参加)は10月22日にハイブリッドで実施。  
実験教室(11人参加)は10月30日に対面で実施。  
令和5年度：講演会はハイブリッド、実験教室は対面で、10月頃に実施予定。

## 住民広報について（その2）

### I 情報発信等について

- ・ 地元広報誌「アトムサイエンスくまとり」  
地元広報誌として、年2回刊行(春・夏号、秋・冬号)し、地元関係機関等へ配布している。
- ・ LINE公式アカウント「京都大学 複合原子力科学研究所」を開設  
令和3年3月に当研究所のLINE公式アカウントを開設し、地域住民の方々等へ研究所のニュース、イベント、研究成果等の情報発信している。
- ・ 地元会議での原子力施設の安全管理等に係る定例報告等  
熊取町原子力問題対策協議会  
開催日：令和5年7月13日  
泉佐野市原子力問題対策協議会  
開催日：令和5年8月4日  
大阪府原子炉問題審議会  
開催日：令和5年8月9日